



静岡南幼稚園に 入園して

静岡南幼稚園に入園して

卒園児・年長児の母

長女、次女共に静岡南幼稚園にお世話になっています。

長女は小さい頃から周りから見ると、少し変わった子、集団行動が少し苦手な子でした。初めて子育てをする私たち夫婦はそんな長女が幼稚園でうまくやっていけるのか、どんな幼稚園を選んだらいいのかすごく不安に思っていました。

そんな中、友人に「静岡南幼稚園の入園説明会へ行ってみない？」と誘われ、行ってみることにしました。その時に園長先生が「子どものキラキラとした個性を大事にしていきたい」とお話しされていたのを聞き、この幼稚園だったら長女ものびのびと過ごせるのかもしれないと思い入園することに決めました。

そして、私たちの想像していた通り、それ以上に長女は毎日キラキラした目で、のびのびと楽しく幼稚園生活を送ることができ、集団で行動する事も、お友達とどう接したらいいかという事も学んでくれました。

そんな長女を見て羨ましがっていたのが保育園に通って

いた次女です。次女はまだ2歳だったのに、「ねえねすごく楽しそうだから幼稚園に行きたい！」と私たちにお願ひしてきました。そこで、年少さんになる時に保育園ではなく幼稚園に入園することを決めました。

小さな子から見てもすごく楽しそう！行きたい！と思える幼稚園ってすごくステキだなと思います。

楽しいことも、悲しいことも、悔しいことも、色々な気持ちを学んで成長できるそんな幼稚園だと思います。

静岡南幼稚園にとっても感謝しています。



泥んこの中から学べる大事な事

卒園児の父

今から4年前、我が子が通う幼稚園を決める時に選んだポイントは、「とにかく元気に遊ぶことを大事にしている園」でした。

少子化が社会問題化する中で、親が子どもにかける時期は以前にも増して大きくなってきています。その中で、早期教育の名のもとに、幼稚園に通う前の満三歳児の頃から習い事に通わせる親が多くなったことも事実です。早期教育の重要性は否定しません。しかし、それよりも就学前の子どもに必要なことは、何よりも「元気よく遊ぶ」ことだと考えていた私には、「泥んこまみれになって遊びます」という静岡南幼稚園がとても魅力的にうつりました。

また、これは入園してからわかったことですが、静岡南幼稚園は、季節行事がとても充実しています。そして、保護者が参加できる行事もとても多いのです。間もなくお子さんが

幼稚園に入園される皆さん、例えば七夕飾りに短冊を飾ったのはいつ？夢中になって虫取りをしたのはいつの日のことでしょうか・・・？ずっと昔ではないでしょうか。そうです。子ども達が「元気よく遊びながら」いろいろな行事を通して、日本の、静岡の豊かな季節と風物を学び、行事を通して礼節も学んでいくだけではないのです。

私たち親も、子どもと一緒に行事に参加して、記憶の片隅に置かれてしまっていた「大事なこと」をたくさん思い起こすことができるのです。

ぜひ、お子さんを静岡南幼稚園に入園させてください。卒園する頃には、元気一杯でありながら礼節をわきまえ、思いやりがあり、自然の大切さを存分にわかるお子さんに成長されていることでしょうか。そして親も、「いい大人」になること間違いなしです。充実した園生活を送りましょう！



毎日のお土産

年長児・年少児の母

私は男の子2人の母です。上の子は年長組、下の子は年少組でお世話になっています。何度かの園庭開放、園見学会に行っているうちに、園児達が伸び伸びと遊んでいる姿を見て静岡南幼稚園の良さにひかれていきました。私は、とにかく自分の子ども達には、元気よく伸び伸びと外で遊び、「幼稚園って楽しいー！」って思っていたのです。そんな一方で、園児数が多いと聞いていたので、お友達は出来るかな？仲良くやっていけるかな？と不安もありました。しかし、あっという間に2年が経ち、子ども達は幼稚園を満喫してい

るようです。

子ども達の現状を少しお話させてもらおうと、上の子は、工作が大好きになりました。おりがみや新聞紙を使っていろいろ作った物をよく持って帰って来ます。そして今、逆上がりの練習に奮闘しているようです。年長組になった今では、お友達もたくさん出来ました。

下の子は、幼稚園に入る前までは内気な性格でしたが、よくおしゃべりをするようになり、自分から幼稚園の話をしてくれます。毎日幼稚園に行くのが楽しいのか、お兄ちゃんよりどんどん早く支度をします。そんな2人が幼稚園から帰ってくると、いつも決まって“お土産”があります。

それは・・・洗濯物のお土産です。体操着の汚れ具合を見て今日一日の行動がわかってしまうかのようです。その汚れを見て外で元気よく夢中で遊んだんだらうなと思い、ほほえましく思うのです。私はそんな2人の成長がとても楽しみです。上の子は幼稚園生活が残り少なくなってきて私自身が少し寂しく思いますが、子ども達には、幼稚園で学んだ事、培ってきた事をいつまでも忘れないでいてほしいです。

そして、静岡南幼稚園でたくさんの事を経験し、幼稚園生活が楽しかった思い出として残して欲しいものです。



幼稚園は子ども達の「生きる力」を 育ててくれるところです

卒園児の母

長男が3歳児の誕生日を迎えるころから、ママ友達との一

番の話題は、子どもをどこの幼稚園に入園させるかという事でした。

いろいろな園を見学し、説明会に通い、かなり悩んだ記憶があります。結局、我が家の3人の子どもは皆、静岡南幼稚園に通わせていただいたわけですが、子ども達が口をそろえて「幼稚園大好き！」という理由を、時折実感することがあります。

静岡南幼稚園の子ども達は、朝の着替えを済ませるとすぐに、思い思いの遊びを始めます。園庭に飛び出して難しい遊具にチャレンジしたり、友達と協力して砂場に大きなトンネルを作ったり。または、教室で山ほど折り紙を折ったり、粘土で恐竜を作ったり。それぞれが自分の意思で遊びを選び、挑戦し、工夫して発展させていきます。

また、雨上がりには、ぬかるんだ園庭を最高の遊び場にして、泥んこや水溜りに手や足を入れ、その感触を味わいます。雨が降れば、自分で作ったビニール袋のカップを着て園庭を探検し、新しい発見をします。こんな風に、すべてを遊びに変えてしまうのが、静岡南幼稚園の楽しいところ。子ども達が夢中になる理由なのだと思います。

幼児にとって、一番の仕事は「遊ぶ」ことです。たくさんの友達と思いきり遊び、体で感じることで、幼児期に学ばなければならないほとんどの事柄に出会えるのではないかと思います。

卒園生を見ても勉強やスポーツ、児童会活動などで活躍している子がたくさんいます。やはり、静岡南幼稚園時代に体得した、自分で考え、行動できるバイタリティーは、次のステップでの力になっているのだと思います。

たくさんの「生きる力」や「知恵」を与えてくれる場所。そんな幼稚園だと思います。

